

トラウマ処理とその周辺 3

期 日：2017年7月1日（土）・2日（日）

受講対象：教育・医療・相談・福祉・保育の各機関・現場等で子どもにかかわる専門家の方々、
並びに大学生・大学院生など本テーマに関心のある方

定 員：150名（定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください）

受 講 料：12,000円（税込み） ※昼食は各自おとりください

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場：明治安田生命名古屋ビル ホール ※詳細地図は受講証に添付いたします
名古屋市中区新栄町1-1 明治安田生命名古屋ビル 16階
（名古屋市営地下鉄東山線・名城線「栄駅」5番出口より 徒歩1分）

講師陣ご紹介

*** ご企画 杉山 登志郎 先生：浜松医科大学児童青年期精神医学講座 客員教授 ***

（ご出講順）嶺 輝子 先生：アースシー・ヒーリング・セラピー 主宰

森川 綾女 先生：TFTセンター・ジャパン代表、
国連世界人道促進機構（UN-WHF）外交官、NOHE 人権大使

藤本 昌樹 先生：東京未来大学こども心理学部 准教授

福井 義一 先生：甲南大学文学部人間科学科 教授

吉川 久史 先生：広島国際大学心理科学研究科実践臨床心理学専攻 講師

伊藤 華野 先生：京都西山短期大学仏教学科 准教授/学生相談室課長 臨床心理士

時代はトラウマです。大災害、いじめ、犯罪被害、子ども虐待、DV、性被害などなど、今日トラウマは溢れています。この様な中で、トラウマ処理のための精神療法が様々に開発されて来ました。そうしてトラウマ処理を実践してみて分かったことがあります。それはトラウマを巡る問題が、誤診と誤った治療の山だということです。特に複雑性 PTSD に関してきちんとした治療は全く行われてきませんでした。トラウマ処理を巡る講座は今年で3年目になります。

今年度は様々な治療技法による、その複雑性 PTSD への治療実践を、集中して取り上げます。

【浜松医科大学児童青年期精神医学講座 杉山 登志郎】

	日程	時間	テーマ	講師（敬称略）
プログラム	7月1日（土）	13:00～14:30	トラウマ処理とその周辺 発達障害と愛着障害が共に認められる難治例への対応	杉山 登志郎
		14:45～16:15	ホログラフィートークの発展： 重度愛着障害への治療可能性	嶺 輝子
		16:30～18:00	TFT 60分あれば一生分の治療ができる治療実践	森川 綾女
	7月2日（日）	9:15～10:45	ブレインスポッティングの限界とそれを越える新しい手法： 複雑性トラウマの治療	藤本 昌樹
		11:00～12:30	自我状態療法と臨床催眠 難治例への治療可能性を探る	福井 義一
13:30～14:50		EMDRおよびその他の治療法を用いた ハイブリッド・トラウマ処理	吉川 久史	
15:05～16:05		トラウマを有する子どもへのヨガの応用	伊藤 華野	
		16:05～16:55	シンポジウム	全 講 師

※時間割・テーマ等が変更となる場合がありますので予めご了承願います。